

SDGsを自分ごととして考える対話型授業

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



世界市民教育は、どんな場所で起きた出来事にも、**同じ人間としての眼差し**をもって向かい直す「縁」となり、問題解決への行動の連帯を育む「縁」となるものです。それは、**グローバルな課題**を人間一人一人の生き方に引き寄せながら、その人自身が持つ可能性を開花させていく源泉にほかなりません。

2017年1月29日 第42回「SGIの日」記念提言
池田 大作先生

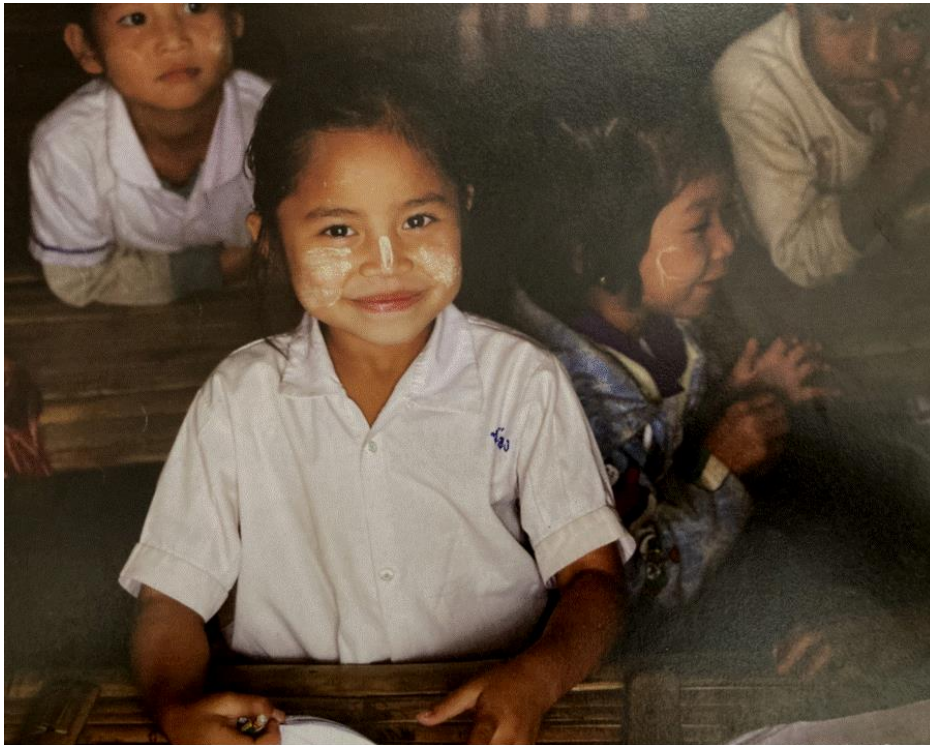
発表者 小学校教育論
矢野 淳一

小学2年 生活科「なぜ学校に行けないの？」(5時間)

カリキュラム作成の観点

子どもたちに何を学ばせたいのか

- 「アフリカの子どもは学校に行けなくてかわいそう。」と考えるのではなく、目を輝かせて笑顔で学ぶ姿から、「見た目や環境は違うけど、自分たちと同じ人間として一生懸命に生きている。」ということを子どもたちに感じてほしいと思った。(人間の尊厳)
- 「なぜ学校に行けないの？」という問題について考えていきたい。(問題の原因)
- 「学校に行くのは何のため。」(学ぶ目的)
- 「学べることや周りで支えてくれる人たちに感謝の気持ちを持ち、これから自分がしていきたいこと」を考える。(自分たちのこれからの行動や貢献について考える)



「学校に行けない子ども」
mundi4月号(2015年国際協力機構発行)

SDGsの課題を自分ごととして考える

にしアフリカに住むアイシャちゃん(9さい)の一日

2年()組 名前()



【アイシャちゃんの家ぞくのしょうかい】

お父さん、お母さん、お兄ちゃん(12)、おねえちゃん(10)、アイシャちゃん(9) おとうと(6)、いもうと(1)の7人家ぞく。
ヤギが3頭、ヒツジが3頭を飼っている。
しょうらいのゆめは、かんごふさんになること。妹がマラリアというびょう気にかかっていたとき、テキパキはたらくかんごふさんを見て、すごいなあとおもったから。

☆アイシャちゃんの一日を見て、自分と「にているな」、「ちがうな」とおもふことや、アイシャちゃんは「すごいな」とおもふことを書きましょう。



【おきる時こく】
午前5時30分

まだぐらい中、おねえちゃんといもうとと、一しょに、いどへ水くみへ。水を入れたバケツを頭にのせてしんちょうにはこぶ。いどまで、おうふく30分かかります。



【朝ごはん】
午前6時30分

お母さんが作ってくれた「ブル」とよばれるおかゆを食べる。



【学校へ行く】
午前7時30分

学校までは、歩いて15分。サパンナとよばれるかんそうしている草げんを歩いていく。もうどくをもっているサソリがとつぜんあらわれるときもある。



【学校へ行く】
午前8時
～12時

外にわらびきやねがついている教しつ。つくえ、いすがたりないため、地めんにするる子もいる。教が書は、となりの子と一しょに見る。ノートのかわりに、自分よりの小さな黒板をつかう。

「西アフリカに住むアイシャちゃんの一日の生活」

(JICAの冊子「学校に行けない世界の子どもたち(2016)」をもとに自作したプリント)

【自作プリントを作った理由】

- ・同じくらいの年のアイシャちゃんが、家族や友達と一緒に生活している様子に着目することで、遠くに住むアイシャちゃんに対して親しみをもってほしい。
- ・アイシャちゃんの生活と自分たちの生活を比べる中で気付いたことを対話型授業で出し合った。

「なぜ学校に行けないの？」



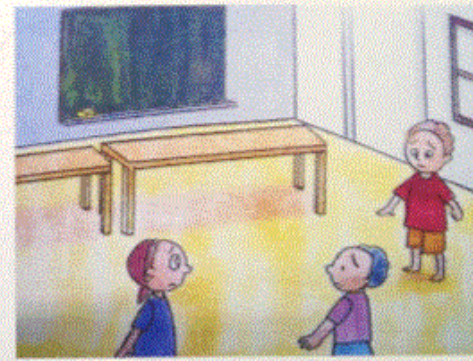
学校に行けないせかいの子どもたち(2) 【学校に行くことができない理由】
2年()組 名前()



①いもうとやおとうとの世をしなくてはならない。
5～10人ときょうだいがいて、おやのかわりに、めんどうを見なくてはならないから。



②家のしごとをしなくてはいけない。
のうぎょうなどの家のしごとを手つだったり、外にはたらしに行かなければならないから。



③先生がいらない。学校がちかくない。
先生になる人がいなかったり、学校がおそすぎてかえれないところがあったりするから。



④おやが学校に行かせてくれない。
子どもに学校へ行かせるくらいなら、はたらかせたほうがましとかんがえているおやがいる。女の子は、学校に行くひつようがないとおもっているおやも多くいる。



⑤おやをうしなってしまった。
びょうきや何かのりゆうで、おやをうしない、家がなくて外で生活しなければならない子どももいる。



⑥せんそうにまきこまれた。
せんそうで学校がこわされてしまったり、子どもでへいしにさせられたりしている子どももいる。

「学校に行くことができない理由を考える」(自作プリント)

- ・家の仕事をしなくてははいけない。
- ・先生がいらない、学校が近くにない。
- ・戦争に巻き込まれた。
- ・親を失ってしまった。

【ネクサスアプローチ】

多岐に及ぶ課題の関連性を見いだしながら同時進行的に解決を図っていくアプローチ。

文字が読めない体験

Das ist normales Wasser.
Es ist kein Todliches Gift.
Dies ist Wasser mit Apfelgeschmact.



これは、普通の水です。
全然、毒ではありません。
これは、リンゴ味の水です。



- ・字が読めないから怖い。
- ・色が怪しくてドキドキした。
- ・最初に匂いを嗅いでみよう。

SDGs授業実践



「学校に行けるって本当に幸せなんだなと思いました。学校に行くと、本当に字も丁寧に書けて、ぼくも幸せだし、みんなも幸せなんだなと思いました。」

小単元名「なぜ学校に行けないの？」

27時間のうち、SDGsの授業を5時間配当

1時間目「アフリカの友達との1日の生活を比べてみよう」

- ・アフリカで学ぶ子どもの笑顔を見て思ったことを発表する。
- ・「アイシャちゃんの生活」で気付いたことを話し合う。(対話型授業)

2時間目「なぜ学校に行けないの？」

- ・学校に行くことができない理由を予想し合う。(対話型授業)
- ・世界中で子どもが学校に行くことができなくなった人数や場所、及びその理由について学習する。

3時間目「字が読めないとどうなるの？」

- ・読み方が分からない文字で書かれている飲み物を飲み、感想を発表する。(体験→対話型授業)

4時間目「もし学校に行けなかったらどうなるの？」

- ・文字が読めなかったり、計算ができなかったりするとどんなことが困るか考え、話し合う。(対話型授業)

5時間目「教育を受けられるようになって」

- ・教育を受けられるようになって医療や教育の現場で活躍しているアフリカの人たちのビデオを見て思ったことを感想に書き、発表する。

基于SDGs思考的对话式课堂实践



世界市民教育无论在任何地方举行，其根源都是以人为着眼点连在一起的缘分，同时又在向共同解决问题行动中，补充扩展这些缘分的内涵。这就是把我们一个个人的生存方式放在国际性课题中，在我们每个人发挥自己最大潜能下得以解决。

池田大作 2017年1月29日 第42回「SGI之日」纪念倡言

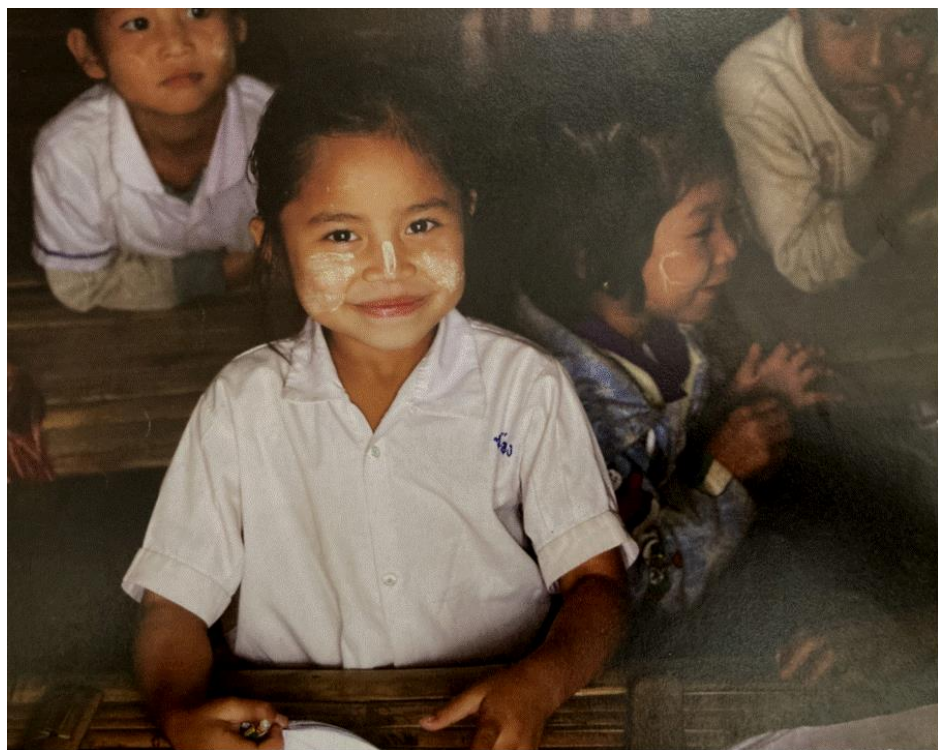
发言人 小学教师
矢野 淳 一

小学 2 年级 生活学科 单元 「为什么不能去学校？」（共 5 课时）

课程编辑思路

让学生学什么呢？

- 不是让学生只停留在“非洲的小孩子们没办法去上学，正可怜！”等拥有这样的同情之上，而是让学生们感受到：喜悦的脸上带着聪慧的眼光的非洲孩子们，“虽然环境不一样，但是他们也跟我们一样都是拼命的努力生活、学习。”等这样的尊敬别人的心情（人的尊严）
- 思考“为什么不能去学校呢？”等这样的问题。（问问题的原因）
- 思考“去学校是为了什么”的目的（学习目的）
- 反思“自己能上学是在周围人的帮助下才有的结果，带着感谢他们的心情，我该怎么做呢？”等这样认识、把我自己。（思考自己今后的行动和贡献）



「不能去上学的孩子」
mundi 4 月号（2015年国际合作组织机构）

把SDG s 的课题当作自身问题来思考

にしアフリカにすむアイシャちゃん(9さい)の一日

2年()組 名前()



【アイシャちゃんの家ぞくのしょうかい】

お父さん、お母さん、お兄ちゃん(12)、おねえちゃん(10)、アイシャちゃん(9) おとうと(6)、いもうと(1)の7人家ぞく。
ヤギが3頭、ヒツジが3頭を飼っている。
しょうらいのゆめは、かんごふさんになること。妹がマラリアというびょう気にかかっていたとき、テキパキはたらくかんごふさんを見て、すごいなあとおもったから。

☆アイシャちゃんの一日を見て、自分と「にているな」、「ちがうな」とおもふことや、アイシャちゃんは「すごいな」とおもふことを書きましょう。



【おきる時こく】
午前5時30分

まだぐらい中、おねえちゃんといもうとと、一しょに、いどへ水くみへ。水を入れたバケツを壁にのせてしんちょうにはこぶ。いどまで、おうみく30分かかります。



【朝ごはん】
午前6時30分

お母さんが作ってくれた「プール」とよばれるおかゆを食べる。



【学校へ行く】
午前7時30分

学校までは、歩いて15分。サパンナとよばれるかんそうしている草げんを歩いていく。もうどくをもっているサソリがとつぜんあらわれるときもある。



【学校へ行く】
午前8時
～12時

外にわらびきやねがついている教しつ。つくえ、いすがたりないため、地めんにするる子もいる。教か書は、となりの子と一しょに見る。ノートのかわりに、自分よりの小さな黒板をつかう。

“在西非住的爱香小孩的一天生活”

(根据JICA发行的小册子《全世界不能学校的儿童(2016)》创作的学习材料)

【创作的理由】

- 通过关注和学生们同龄的爱香与家人一起生活的样子，培养学生们对住在远处的爱香学习的兴趣。
- 把把爱香的生活与自己的生活作比较，用对话性的活动把自己感受到的进行分享。

“为什么不能去学校？”

1 貧困をなくそう



4 質の高い教育をみんなに



16 平和と公正をすべての人に



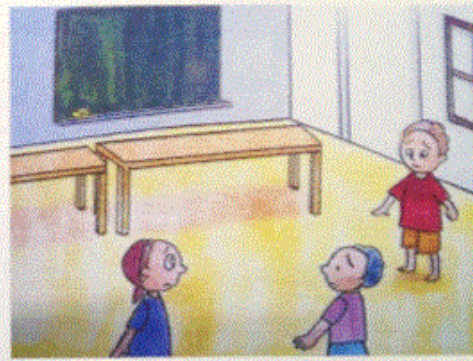
学校に行けないせかいの子どもたち(2) 【学校に行くことができない理由】
2年()組 名前()



①いもうとやおとうとの世をしなくてはならない。
5～10人ときょうだいがい、おやのかわりに、めんどうを見なくてはならないから。



②家のしごとをしなくてははいけない。
のうぎょうなどの家のしごとを手つだったり、外にはたらしに行かなければならないから。



③先生がいな。学校がちかくない。
先生になる人がいなかったり、学校がおそすぎてかえないうところがあったりするから。



④おやが学校に行かせてくれない。
子どもに学校へ行かせるくらいなら、はたらかせたほうがましとかんがえているおやがいる。女の子は、学校に行くひつようがないとおもっているおやも多くいる。



⑤おやをうしなってしまった。
びょうきや何かのりゆうで、おやをうしない、家がなくて外で生活しなければならない子どももいる。



⑥せんそうにまきこまれた。
せんそうで学校がこわされてしまったり、子どもでへいしにさせられたりしている子どももいる。

“思考为什么不能去学校的理由”（自作学习单）

- 必须做家务。
- 没有老师，学校又远。
- 因为战争的影响。
- 没有双亲。

【nexus approach】

找到与多方面的课题的相关性，同时找到解决问题的方法。

不识字的体验

Das ist normales Wasser.
Es ist kein Todliches Gift.
Dies ist Wasser mit Apfelgeschmact.



这是普通的水。
一点都没又毒。
这是苹果汁。



- 不识字真可怕。
- 色颜色古怪有点紧张。
- 最初先问问是什么味

道

小学2年级 生活学科“回顾长大以后的自己”单元学习（共27课时）

小单元“为什么不能去学校？”

（27课时里面的SDG s 的课5课时）

SDG s 课堂实践



“我能去学校学习真幸福。去学校能学习认识字、写字，我也很幸福。我想大家都幸福吧。”

第1课时“比较非洲朋友的一天生活”

- 发表自己看见非洲小孩学习中的笑脸后的感想。
- 针对“爱香的生活”进行交流。（对话型课堂）

第2课时“为什么不能去学校？”

- 预想不能去学校的理由。（对话型课堂）
- 了解全世界不能去学校的人数、地区及理由。

第3课时“不识字有哪些困惑？”（体验→对话型课堂）

- 喝过用不认识的字标注的饮料后的感想。

第4课时“如果不能去学校该怎么办？”（对话型课堂）

- 分享在不识字也不会计算的情况下，有什么困惑。

第5课时“能够接受教育后”

- 观看接受教育后在医疗、教育第一线工作的非洲人的录像后分享感想。